

【火曜2限 フィールドワークⅠ グループ6】

静岡県立大学 国際関係学部  
2313037 鈴木 萌香 2313192 原 凪沙  
2313047 土井 純奈 2313208 宮廻 恵司  
2313072 山際 亮太



# 静岡県立大学学生 SDGsインタビュー 2023

【インタビュー実施日】  
令和5年12月22日(金)16:00~17:30  
【実施場所】静和エンバロメント株式会社  
【ご担当者】  
管理部 大村様/営業部 内田様



お忙しい中ご協力  
いただきありがとうございました！  
1705

01

## 調査方法

企業に伺わせていただき、管理部の大村真弘様、営業部の内田麗奈様にお話を伺いました。大変お忙しい中、私たちのためにインタビューにとっても詳細に答えていただきました。



03

## 静和エンバロメントSDGs活動①

### ●主なSDGs活動

#### ①働きやすい環境の整備

障がい者雇用、育児・介護休暇の策定、体調の悪い人が休める休養室の設置、資格取得支援制度、表彰制度等



#### ②環境保護

エコ運転技術講習会への参加、車両整備の徹底、アイドリングストップの呼びかけ、目標燃費に対する意識向上 等



#### ③社会奉仕活動

地域周辺美化活動、衣料回収プロジェクト、救済鳥プロジェクトの参加、海洋プラスチック防止6R県民運動周知キャンペーン 等



## インタビュー先企業様

# 静和エンバロメント株式会社



02

## 静和エンバロメントについて

### ●会社概要

- ・1997年7月に設立（創業26周年）
- ・従業員数：60人（男性：49人、女性：11人）  
※女性用の有給制度あり

### ●事業内容

- ①リサイクル事業（産業廃棄物処理）
- ②清掃メンテナンス（お客様の設備や施設の特殊な清掃作業、洗浄）
- ③省エネエコテクノ（エネルギーコストやCO2の削減から経営戦略、環境プロモーション）



05

## 月明かり

### ●月あかりとは？

災害時対応型太陽光LED外灯のこと！  
スマホの充電にも使用することができる！  
・市民も使用することができる  
・スマホ500台分充電可能  
・地上の電気が通らないところでも、置くだけで使うことができる

### ●きっかけは？

東日本大震災の被災地へ行ったら...  
・普段は明るいところが真っ暗だった！  
・避難場所まで充電が切れて、家族と連絡を取ることができない人がいた。



地域の未来によりそう  
しずおか焼津信用金庫

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

しずおか焼津信用金庫は持続可能な開発目標（SDGs）を支援します

04

## 静和エンバロメントSDGs活動②

### ●PSFプロジェクト

#### ①静和SDGsチャレンジ

- ・社員一人ひとりのSDGs目標（自分の取り組み）  
（例）エコバッグを使う、水筒を持ち歩く



#### ②環境授業

- ・学校からの依頼
- ・一人ひとり環境に対する宣言を書いてもらう  
→子どもたちに環境保全に対する考えを持ってもらいたい

#### ③しずおかきれいだら一大作戦

- ・主に観光地で行う（青葉シンボルロード、駿府城公園）  
→きれいになって嬉しい！感謝されて嬉しい！

#### ④緑の募金

- ・自動販売機の売り上げの一部を寄付
- ・災害停電時にも飲料を提供可能



#### ⑤救済鳥プロジェクト

- ・きっかけ：食品ロス多い
- ・備食を捨てたい→もったいない→貧困地域へ寄付

#### ⑥災害復興

- ・静岡集中豪雨での土砂復興
- ・防災シェア（例）使い捨てトイレ、アルミポンチョ



#### ⑦ありがとうカード

- ・感謝の輪を広げるために実施
- ・“Best of ありがとう”月一、年一に選出→金一封

06

## インタビュー後の感想

静和エンバロメント株式会社にインタビューへ行くことが決まった当初、ほんの少し会社名を聞いたことがあるかないかくらいの程度の認識でした。しかし、今回のインタビューを通して、環境のために県内で講演会を開いたりごみ拾いなどをしたりしていることに加えて、災害が起きたときにその場へ行って支援をしていて、県内だけでなく全国のあるいは世界的に活躍していることを知って、SDGs活動にとっても貢献していることを実感することができました。また、私たちもSDGsに向けてできる取り組みを積極的にしていきたいという気持ちが強まりました。企業のみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

